

(仮称) 公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟  
基本計画概要(案)

## (仮称) 公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟の基本計画策定の背景

すべてにおいてオンライン化が進む今、人々の関心は、モノの消費からコトの消費へと変わってきています。体験や経験に価値を感じ、それをだれかと共有しともに楽しむこと。その体験が気軽に楽しめるものであったり、「ここでなきゃ」と思えるものであること、それが人々を惹きつけます。

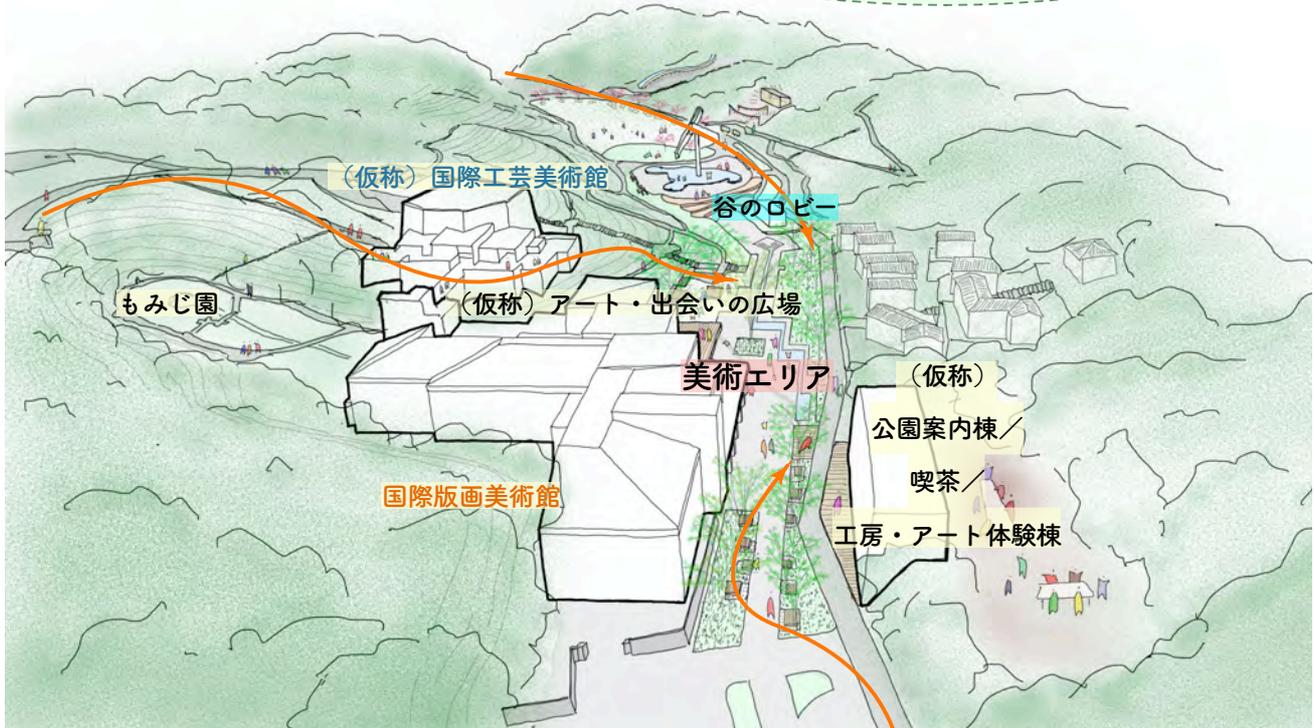
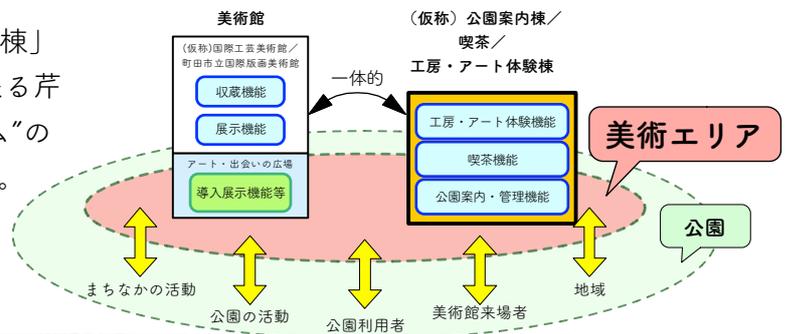
公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟は、パークミュージアムへの玄関口であり、公園来園者、施設利用者、周辺地域の方々などを始め、パークミュージアムに興味を持つ全ての人々へ開かれた施設です。

豊かなみどりと二つの美術館を望むように建つ建物は、施設内の雰囲気が外部からも感じられ、人の活動の様子や雰囲気を体感できます。「自分も工房を利用してみよう」「自分も芹ヶ谷公園に繰り出して何か新しいことをやってみよう」といった興味・関心・感動の“種”を育て、心を養うきっかけづくりができる空間となります。

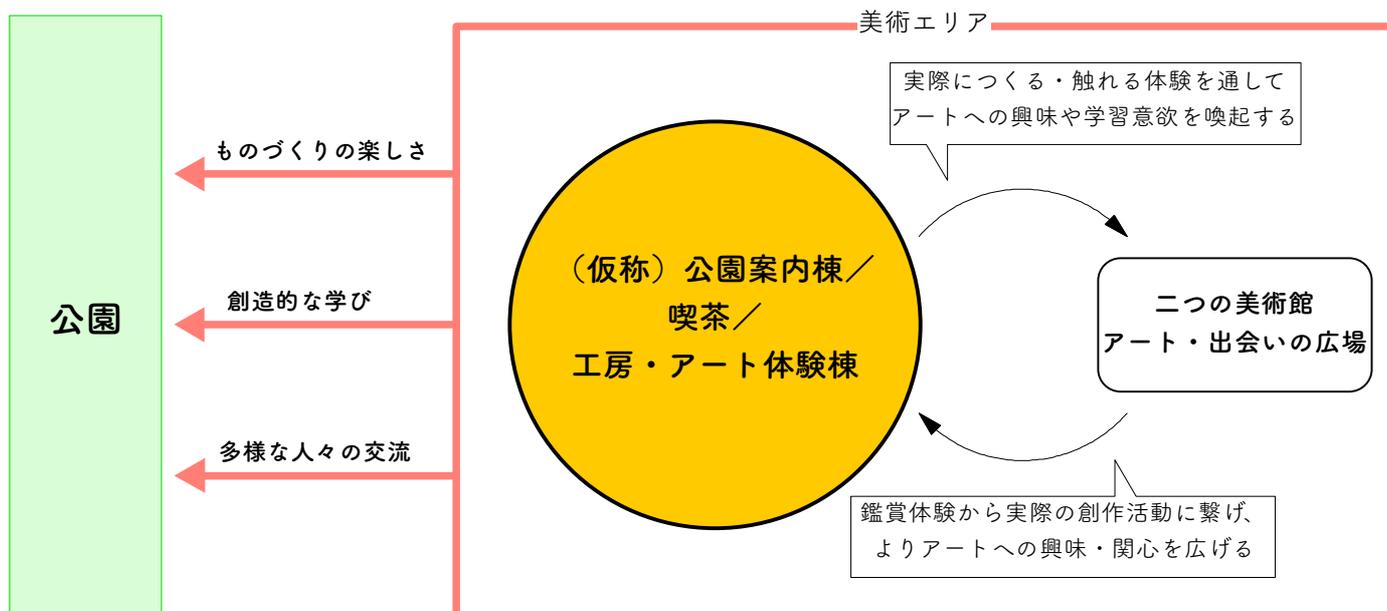
そして、この建物から、人々が“種”をもって芹ヶ谷公園へ行くことで、自分だけのお気に入りの場所で寛ぐ、広場で遊ぶ、みどりを感じながら創作活動に打ち込む、芹ヶ谷公園ならではのアートを発見するなど、色とりどりのアートや活動が芽吹き、素敵な風景が公園全体に広がっていきます。

また、1987年の開館以来、国際版画美術館は「鑑賞」「創作」「発表」の機能を一体的に提供するという役割を担ってきました。版画に加えてガラスや陶磁器などの制作もできる新しい工房と二つの専門美術館とを密接に連携、一体化させることで、これまでの役割をより発展・継承させていきます。

「(仮称)公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟」は、この場所ならではの体験や過ごし方が出来る芹ヶ谷公園、みんなで作る“パークミュージアム”の実現にふさわしい拠点となることを目指します。



## (仮称) 公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟の理念・指針について



### ▶施設のコンセプト

子どもから大人まで、「アート」の楽しさ、「創造」の喜び、「滞在」の心地よさを体験できる、パークミュージアムの玄関口

パークミュージアムの美術エリアにおける創作や体験を担う拠点として、工房機能を中心に、多様な世代の人々がアートに触れ合うことができる様々な機会を提供していきます。また、パークミュージアムの総合案内や美術エリアにおける創作・体験活動が集約した玄関口として、アートや芹ヶ谷公園の情報・魅力を提供していきます。

### ▶施設のミッション 施設の普遍的な目的について

子どもから大人まで、楽しみながら創作活動に取り組むことで、創造的な文化を育み、発展させていく。

パークミュージアムでは、町田ならではの魅力的な文化と出会える取り組みを展開していきます。

そのなかでも、(仮称)公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟は、特に版画・ガラス・陶芸などの創作活動を通じて、創造的な営みとしての文化を育て、次代に繋いでいくことを目指します。

ふらっと立ち寄ってみたいくなる居心地の良い空間と、多様な人々の活動や様々な体験を肌で感じることができる空間を提供し、ここに来るだけで、誰もがが繋がるきっかけを得られる。

園内にある施設と連携し、飲食機能をはじめとした魅力的な滞在空間を創出していきます。

また、公園と美術館を楽しむためのサポート運営も充実させ、様々な人の公園における利用ニーズと、活動やアート体験を通じた多様なアート・カルチャーの機会を体現し、活動の輪を地域に還元していくことを目指します。

### ▶施設のビジョン 施設によって実現したい目標について

- 【創作】** 1. 誰もがものを作る楽しさを体験できる
- 【学び】** 2. 誰もが創造的な活動から学びを得られ、成長することができる
- 【居場所】** 3. 誰もが気軽に訪れる場所となり、美術や自然に囲まれた時間を過ごすことができる
- 【交流】** 4. 創造的な活動を通して、多様な人々が交流できる
- 【共生】** 5. 多様な価値観を認め合う共生社会の実現に寄与できる

## 工房・アート体験機能

主な機能：版画工房、陶芸体験スペース、ガラス体験スペース、アトリエ

### 1 ● 誰もがものを作る楽しさを体験できる場を提供します。

工芸や版画などの制作活動を初めて行う人でも、子どもから大人まで誰もが制作でき、ものを作る楽しさに触れることができる機会と場を提供します。

### 2 ● 利用者が快適に作品を制作でき、スキルを高められる場を提供します。

版画美術館のコンセプトの一つである“作る”機能を代表する、日本でも数少ない本格的な設備が備わった版画工房としての価値を継承・発展させ、利用者が快適に制作活動を行うことができる場を提供します。

### 3 ● 多様な人々の創作意欲を喚起します。

創作活動の場が広く開かれ、公園や施設の利用者から制作活動の様子が“見える”ことで、版画や工芸の制作への関心を高めたり、市民の創作意欲を喚起するきっかけ作りに取り組みます。

## 活動イメージ



親子で参加できるものづくりの体験の場になります。



現在の版画工房機能を引継ぎ、本格的な制作活動ができる場になります。



公園からのアクセスがよく、活動が外から見えることで、より多くの人々が制作活動に触れる機会を持つことができます。

### 喫茶機能

主な機能：喫茶（店内飲食、テイクアウト）、障がい者の働く場

#### 1 ● 誰もが気軽に訪れることができる居場所を提供します。

公園でより快適に過ごすための、休憩や情報収集の場所、または活動の場所として誰もが気軽に訪れ、利用することができる“居場所”としての空間を提供します。

#### 2 ● 多様な人々が交流できる場を提供します。

客席スペース・飲食提供などを通じて、多様な人々同士の繋がりやコミュニケーション、コミュニティなどの交流の場の提供やサポートを担います。

#### 3 ● パークミュージアムの他の機能と連携し、賑わいを創出します。

工房・アート体験機能との連携だけでなく、美術館や公園でのさまざまな活動と連動した飲食機能の運用を行うことで、賑わい創出に寄与します。

### 活動イメージ



誰もが気軽に訪れることができ、活気溢れるコミュニティの場所になります。



多様な人たちが活躍・交流できる場として喫茶を運用します。



テイクアウト飲食提供やテラス席の設置を行うことでパークミュージアムを楽しむための拠点としての役割を果たします。

## 公園案内・運営機能

主な機能：パークミュージアム運営事務所

### 1 ● 公園で居心地良くを過ごすためのサポートを提供します。

パークミュージアムの入り口（窓口）として、受付や施設案内をはじめとした様々な対応や、利用者が居心地良く、公園で日常を過ごせるようなサポートを行います。

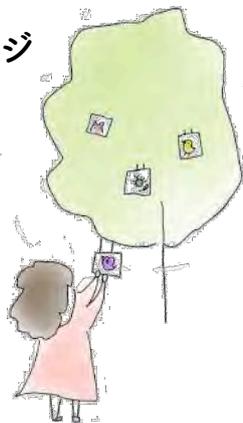
### 2 ● 多様な人々がつながり、一緒にパークミュージアムを盛り上げていくためのマネジメントを行います。

公園来園者・施設利用者や周辺地域の方々など、多様な人々が訪れ、活躍し、互いにつながっていく居場所となる運営を行います。

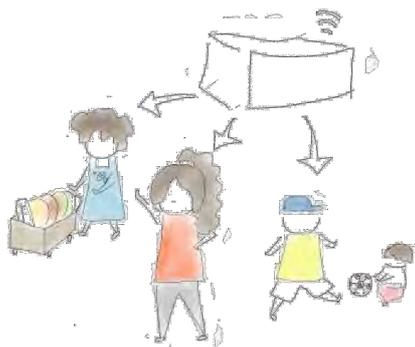
### 3 ● パークミュージアムの活動を発信し、地域とつながる取り組みを推進します。

パークミュージアムで生まれる様々な活動を、公園内だけでなく、まちなかにも発信していくことで、公園や施設に来る方だけでなく周辺にお住まいの方々や駅前地域との連携を推進します。

## 活動イメージ



パークミュージアムで行われるさまざまな創作活動・アート体験等の「公園で〇〇したい」を実現する機会を創出します。

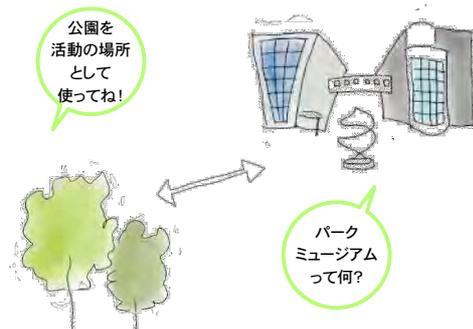


多様な人たちが活躍・交流できる場としてパークミュージアムをマネジメントします。



今日の公園はこんなイベントやっています

日常的に公園を使いたくなるサービスを提供し、パークミュージアムの情報発信や案内を行うことで多くの利用者が満足できる施設にします。



パークミュージアムの情報や案内だけでなく、人々の活動の様子も発信することで興味のタネをまき、地域とつながる取り組みを推進します。

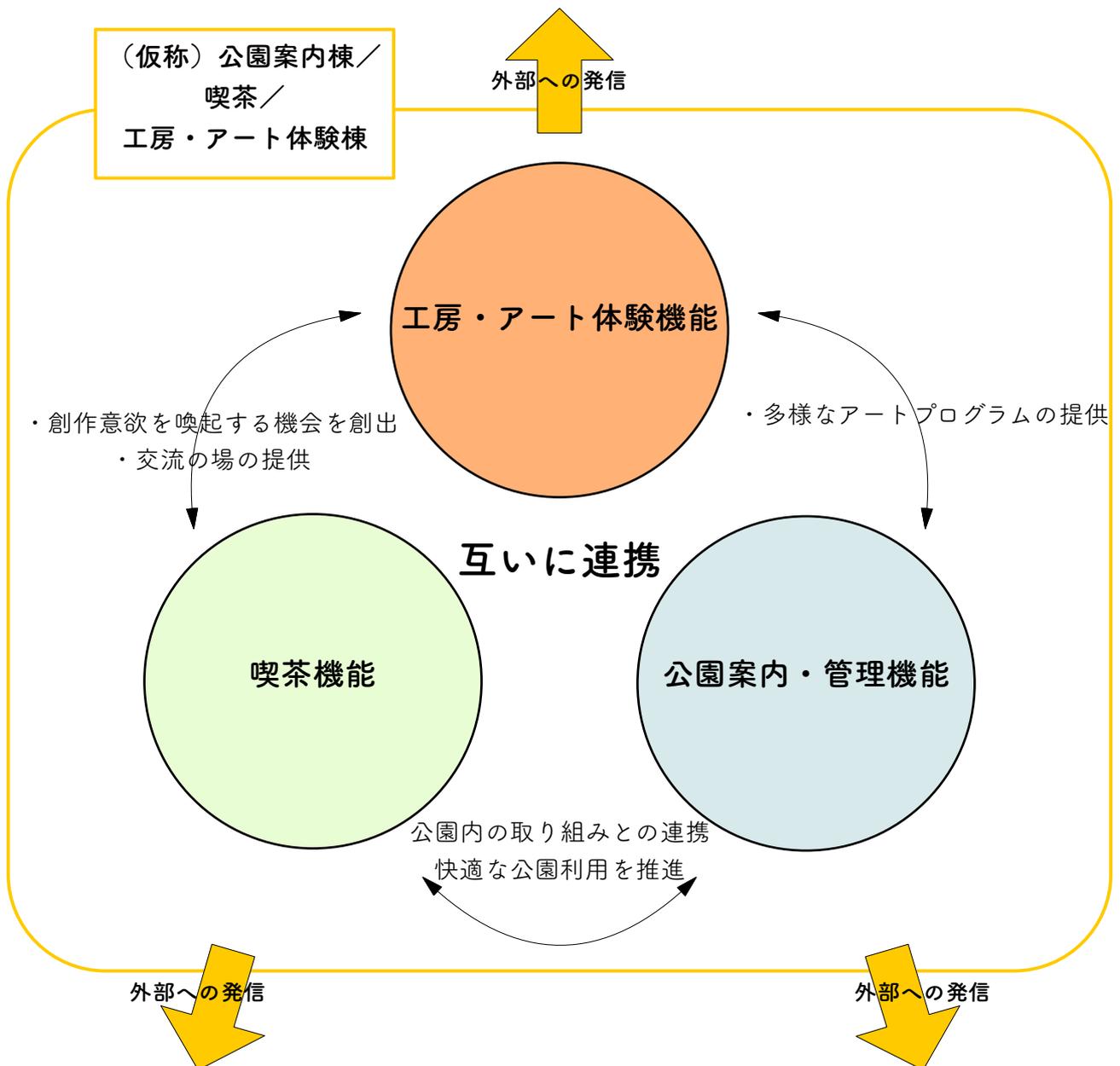
## 各機能の連携ダイアグラム

(仮称)公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟がもつ3つの機能は、お互いに連携し、相乗効果を引き出します。

例えば喫茶から工房が眺められることで創作活動に興味を持ってもらうきっかけを作りやすくしたり、パークミュージアム運営機能が施設内にあることで、公園での飲食企画の展開に対して柔軟に対応が可能になるなど、創造的な体験や学びを、今まで以上に芹ヶ谷公園に波及していきます。

その特徴を引き出すために、建物内のゾーニングは3つの機能が連携しやすいものとして計画を行います。

美術館と連携し、多くの創造的な体験の機会を提供



パークミュージアムをより多くの人々が気軽に利用できるよう、サービスやサポートを提供

パークミュージアムで行われる多様なプログラムの企画・発信

### パークミュージアムと一体の自然環境を感じられる創作体験拠点

施設には多くの人々が行き交うように、公園と施設内が一体的な回遊性を作り出す計画を検討していきます。また、風や光が抜けていく、芹ヶ谷公園の豊かな自然環境を感じられるような建築となるよう検討を進めていきます。

#### 1：公園の入り口となる開かれた場所

芹ヶ谷公園のエントランスの一つとして、来園者が気軽に訪れられるよう、内部の活動が外からも見える等の工夫を行い、周辺に対して開かれた配置とします。

#### 2：美術館との一体的なエリアの形成

美術館や公園との連携を意識した配置とすることで、人々が施設間を行き交い賑わう、美術エリアを形成します。

#### 3：緑豊かな公園環境に馴染んだ建ち現れ方

緑豊かな公園に馴染み、周辺環境から浮いたものにならないボリューム感として、建物全体が建ち現れるよう配慮を行います。